

入学おめでとう 津島小学校・浪江中学校



津島小学校（二本松市）の入学式が4月6日、同校校舎で行われ1名が入学しました。新入生の須藤嘉人くんは、担任の先生の呼名に「はい！」と元気に返事をし、津島小学校に仲間入りしました。来賓の方々からお祝いの言葉をいただく度に「ありがとうございます！」と一人ひとりの顔を見てお礼の言葉を述べる須藤くんの姿に、会場は温かい気持ちに包まれました。

◆今年度の津島小学校児童数：3名、浪江小学校児童数：11名



担任の先生と、初めての教科書を嬉しそうに覗く様子

真っ直ぐな眼で、校長先生の話の聞く須藤くん



新入生誓いの言葉を述べる松本諒さん

また同日、浪江中学校（二本松市）の入学式が二本松市東和文化センターで行われ、4名が入学しました。新入生を代表し、松本諒さんが「ふるさとの良さを考え、学び、浪中の伝統を引き継ぎながら、たくさんの人たちの繋がりを大切にしていきたい」と誓いのことばを述べ、新入生は緊張した表情を浮かべながらも、希望と期待に胸を膨らませて新たな学校生活をスタートしました。

◆今年度の浪江中学校生徒数：22名



ひきしまった表情の新入生4名

小中学校教職員 離任式・着任式

小中学校教職員の離任式および着任式が役場二本松事務所で行われました。現在、小学校は浪江小学校と津島小学校の2校、中学校は浪江中学校1校が二本松市内で再開していますが、その他町内にあった小学校4校と中学校2校は休業中です。本町の多くの子どもたちは全国各地の学校に通っていますが、離ればなれになっても子どもたちとの繋がりを大切に、本年度も子どもたちと保護者の気持ちに寄り添った教育に取り組んでまいります。



小中学校教職員離任式、3月27日



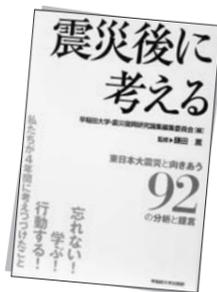
小中学校教職員着任式、4月1日

早稲田大学から 書籍を寄贈 いただきました

4月4日、早稲田大学で「福島震災復興と浪江町支援—いま早稲田から発信する」の公開シンポジウムが開催され、町長が「浪江町の現状と今後の展望」について講演しました。

町は、これまでの早稲田大学によるご支援に感謝し、町内で震災後初めて収穫されたお米を使用して鈴木酒造が仕込んだ日本酒（「希」・「望」）を贈呈しました。

また、早稲田大学からは「震災後に考える 東日本大震災と向きあう92の分析と提言」（早稲田大学震災復興研究論集編集委員会【編】）を寄贈いただきました。



卒業おめでとう 浪江小学校・津島小学校

浪江小学校および津島小学校（二本松市）の修・卒業証書授与式が3月23日、同校校舎で行われました。6名の卒業生（浪江小学校5名、津島小学校1名）は、それぞれに「諦めないことの大切さ」や「自分に大きな自信を持つことができた」など、小学校生活で学んだことや自分の想いを発表し、6年間の思い出を振り返りました。そして、これまで支えてくれた人々への感謝の気持ち、将来の夢と希望を胸に学び舎をあとにしました。



恩師、ご家族と一緒に



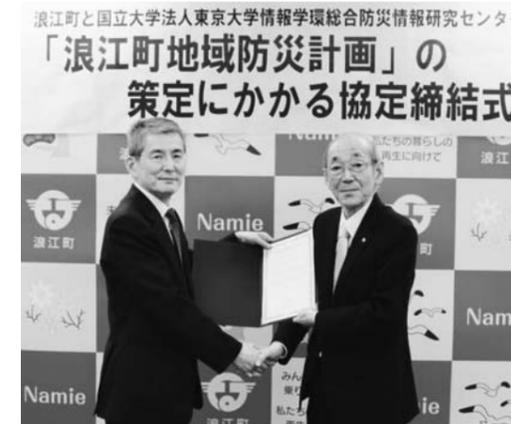
思い出を胸に 校歌を歌う卒業生



皆さまの身の回りにおける楽しい話題、いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

新しい地域防災計画の策定へ



3月27日に行われた協定締結式で握手を交わす、東京大学情報学環総合防災情報研究センターの田中淳センター長と馬場町長

福島第一原発で事故収束へ向けた廃炉作業が続く中、町民の皆さんが安心して町に帰れるためには、3月11日の出来事に学び、その教訓を生かした防災・避難計画を策定する必要があります。大震災前のマニュアルが、広域避難という事象を想定していなかった反省に立ち、浪江町はこのたび、東京大学の専門家チームの力を借りて地域防災計画を抜本的に見直す作業を開始しました。専門家の皆さんには、職員ヒアリングとその行動記録の分析をお願いし、それらを反映した新しい「浪江町地域防災計画」および防災パンフレットや職員の初動対応マニュアルを、平成28年度末までに策定します。

ありがとうございました



3月30日、伊那商工会議所青年部様（長野県）



4月2日、牛来美佳様（本町出身のシンガーソングライター）



4月2日、電力自由化支援機構株式会社様（震災時には、町へ物資（お米）のご支援をいただきました）